

平成21年

6月号

〔534号〕



広報

かねやま



思わず力のはいる東西対抗綱引き
(横田小・横田地域合同大運動会)

金山をあきらめない

平成20年度地域ふれあい支援事業報告

山入近隣会

平成二年に山入歌舞伎を復活し以後十五回の公演実績を積み重ねて来ましたが、後継者問題や演技内容などを充実したものにするため郡山市の『柳橋歌舞伎』を見学し演技の質を高め、他地区での公演を展望する基盤ができました。また、横断幕の購入も山入歌舞伎の公演に大いに役立ちものとなっています。



伝統を継承する山入歌舞伎

進行する少子・高齢化により地域をとりまく社会環境は大きく変化しています。そこで町では、地域ふれあい支援事業として地域間交流、伝承行事・伝承文化の継承、景観形成など、地域の特徴を生かした魅力ある地域づくりを目指す団体を支援してきました。各団体の取り組み内容等を紹介します。

和ろうそく復古会

漆ろうそく作りの研修事業として、山形県鶴岡市のろうそく店を訪れ作業場を見学し、作業の細かい要点等を研修しました。また、作業工程で感じた疑問点などを質問し、ろうそく作りの技術向上につながるヒントを学び、漆ろうそくづくりの難しさと、商品化への思いを新たにしました。



ろうそく作りの様子

なんでんかんで やってんべえ ～町民みんなでの地域づくり～

横田地域を考える会

地域の拠点であった横田中学校の統合は、地域の教育問題のみならず地域の経済、文化に大きな影響をもたらしています。高齢社会が進む中「自分たちの地域は、自分たちで守る以外にない」と考え『村おこし大作戦なんでんかんでやってんべえ』と題した「横田地域の地域作り行動計画」を策定しました。計画期間は、平成二十一年度から平成二十五年度の五年間となっており、その後計画に沿って行動していきます。



横田産の品物が並びます



横田地域の今後について話し合いました



町内の温泉の代表者によるパネルディスカッション

玉梨・八町温泉祭り 実行委員会

町内各温泉の代表者及び町長を加えてのパネルディスカッションを実施。町の財産である温泉について考えることができたようです。また、ポンプを使い休止中の中井湯を汲み上げ炭酸温泉の体験入浴を実施。歌謡ショー・仮装大会の実施により地区内外の交流を図るとともに玉梨・八町温泉を広くPRできました。



パネルディスカッションに聴き入る町民の皆さん



話題の 散歩道

ストレッチする生徒たち

めざめよ！ からだ力 スポーツ力

5月13日、町民体育館でMCS筋肉教室の島田一郎さんを講師にむかえスーパーキッズ（少年運動教室）が行われ、金山中の生徒20名が参加しました。教室では、どの部活動にも役立つストレッチが行われ、生徒たちは日頃の部活動でのストレッチが実際に体のどの筋肉を使っているのかがよく理解でき新鮮に感じているようでした。この教室は、自分の体の自己管理ができ、体力と運動能力の向上を図り、元気な金山の子どもをつくることを目的に6回シリーズで行われており、旧横田中学校でも行われています。

無火災の誓いを新たに

5月14日、金山町婦人消防クラブ総会が行われました。町長、金山町消防団管区長らの祝辞の後、今年度の事業計画、役員改選などについて話し合いました。また、会津坂下消防署金山町出張所の齋藤健所長から住宅火災の危険性や火災を最小限に抑える火災報知器設置の有効性・重要性についての講話を聴きました。平成20年10月現在、町全体での住宅用火災報知器の設置率は46.7パーセントと決して高くない数字となっており、火災を早期に発見し、被害を最小限に抑えるためにも住宅用火災報知器を設置しましょう。



講話を聴く参加者



温泉を満喫する町民の方

八町温泉共同浴場が リニューアル

このほど八町温泉共同浴場がリニューアルしました。真新しい外観と大きな丸太の梁が2本渡る天井がとても印象的です。

地元の方は、「やっぱり新しくいいなぁ」と話し、また、入浴していた日本の秘湯に入る会の方は、「全国各地の温泉に入っているが、人気のある温泉なので新しくなってよかった」と早速新しくなった温泉を満喫していました。

郷土の味に舌鼓をうつ

5月22日、川口高校の郷土料講習会が行われ、2年生は生活体験館でそば打ちに挑戦しました。今回初めてそばを打つ生徒もいれば、何回か経験のある生徒もいるようでした。打ち終わった生徒に話を聞くと「打ちあがったそばにそれぞれの個性が表れているんじゃないですか」と感想を述べました。その後、みんなで協力して打ったそばに舌鼓をうちました。



美味しいそばができるでしょうか



可憐な薄紫の花が咲きました

鮮やかに咲き誇る 薄紫の花

今年も上野原の台地に町の特産品である『あざき大根』の花が薄紫色の可憐な姿を見せてくれました。

花が咲きほこる畑に立つと、山肌を染める新緑と薄紫色の花との絶妙なコントラストが目映えます。

例年と同じように上野原を訪れた人たちはその可憐な姿をカメラに収めたり、心を癒されたりしているようでした。

2年連続受賞の快挙

a w a 心水が、食品のノーベル賞と言われる世界的な品質選考会『モンドセレクション2009』ノン・アルコール部門において2年連続最高金賞を受賞しました。健康面、安全性を重視した製品がスペシャリストによる厳しい審査を経て今回の快挙に至りました。人工炭酸水では味わえない繊細なアワ、国産天然炭酸水の美味しさが世界に認められました。



快挙を成し遂げた a w a 心水

お二人の賀寿を祝う

5月13日、長谷川スミ子さん（中川）5月23日には、星正二さん（上田）に百歳賀寿の贈呈が行われ、会津保健福祉事務所副所長、町長、町老人クラブ連合会長らが賀寿や記念品、祝金を贈りました。

13日、役場での贈呈に長谷川さんは欠席され、長男の慶一郎さんが贈呈を受けました。贈呈にあたり慶一郎さんは、「本人は百歳は通過点だと言っております。福祉政策などで町に大変お世話になっていることに感謝したい」と謝辞を述べました。また23日、自宅での贈呈となった星さんは、「あと30年は大丈夫」と元気にお礼の言葉を述べられました。お二人とも百歳になられても前を見据えて生活なさっています。この前向きな姿勢こそが長寿の秘訣なのではないでしょうか。



代理で贈呈される慶一郎さん(左)



賀寿を受けた星さん(中央)

悪天候を吹き飛ばし金山小で運動会

5月23日、金山小学校で運動会が行われました。6年生の尾形真由紀さんの考案した「転んでもあきらめないで最後まで」のスローガンのもと、全校生が地域の方々とともに今までの練習の成果を十分に発揮していました。応援合戦では紅組と白組に分かれ自分たちの勝利を願い、空にまで届かんばかりの大きな声を張り上げ応援し、あいにくの小雨まじりの天気を吹き飛ばしていました。



気合いのはいる紅組の応援



ゴール前の大接戦

地域をあげて 横田小・横田地域運動会

5月30日、横田小学校校庭において、「元気一番！楽しいわれらの運動会」をテーマに「横田小・横田地域合同運動会」が開催されました。

これは、横田小学校と横田地域住民、町体育指導委員会が実行委員会を組織し、横田地域の一大イベントとして毎年開催しているもので、今年も大勢の地域住民らの参加により大いに盛り上がりを見せました。

地区対抗むかで競走に参加した住民の一人は「5人の足を合わせるのが難しかった。順位はともあれ住民みんなで楽しめたので良かった」と笑顔で話してくれました。係員の一人は「準備など大変な面もあるが、参加者の笑顔を見ると疲れも吹き飛びます」と話しました。

閉会式では、町体育指導委員会委員長の菅家靖一郎さん（本名）が「みんなの協力により素晴らしい運動会になりました」と講評を述べました。最後に参加者全員で万歳三唱をして楽しい1日を終えました。



6地区対抗で行われたむかで競争



展示されている独創的な作品

異彩を放つ作品の数々

今年度のオープンをした妖精美術館では、よねやまりあう米山隆氏による企画展『異形の妖精たち』が開催されています。以前から展示されている絵画、彫刻などとは、一線を画す作品が並びます。

美術館の扉を開け展示室に足を一步踏み入れると作者独特と言うべき世界観、ものづくりのポリシーで制作された作品に目を奪われます。企画展は、11月の閉館まで行われています。

みんなで協力して 苗を植えました

5月22日、横田小で田植えが行われ、全校生で手分けして田んぼに苗を植えました。

今回初めて田植えを行う1年生は、ぬかるむ田んぼに悪戦苦闘し、体に泥をつけながらも小さな手で一生懸命植えていました。終了後には「楽しかったぁ」と口々に感想が聞かれました。全校児童みんなの思いがつまった苗は、横田小の児童と同じくすくすくと成長し、秋には美味しいお米が収穫できることでしょう。



おいしいお米ができるかな

お知らせ

今月の納税

● 県・町県民税 1期
● 保 育 料 6月分

納期限は
6月30日
です

募 集

町職員募集

平成二十二年度町職員採用候補者試験を行います。

▼採用職種・採用予定人員
大学卒程度（一般事務）
【二名程度】

第一次試験期日
七月二十六日（日）

受験資格

昭和四十四年四月二日から昭和六十二年四月一日までに生まれた人
※学歴は問いません

受付期間

六月二十六日（金）まで
◎問い合わせ：総務係
☎ 5415220

消防職員募集

会津若松地方広域市町村圏整備組合では、消防職員を募集します。

採用職種及び人員

・消防職員 十五名程度
・消防職員（救急救命士）若干名

若千名

▼受験資格

・高等学校卒業程度の学力を有し昭和五十七年四月二日から平成四年四月一日までに生まれた方

・身体強健な方

・救急救命士については、昭和五十七年四月二日以降に生まれた方で救急救命士の免許を交付されている方

▼受付期間

七月十五（水）から八月十四日（火）まで

◎問い合わせ

会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部総務グループ
☎ 024215911400

花壇づくり講習会参加者

妖精の里として町が花でいっぱいになるように、花壇づくり講習会を開催します。各地区で行っている花壇づくりの役に立つように土作りや花苗植えについて学びませんか。

▼日時

六月二十三日（火）
午前九時より

▼集合場所

沼沢湖駐車場 花壇

▼内容

花を植える際の注意点や、土作りについて講習しながら、実際に苗を植えます。

※移植ベラや手袋は、各自ご持参ください。

▼講師

県都市公園緑化協会みどり事業課長 渡邊 晃氏
※参加者には、スタッフフェロンを差し上げます。

◎問い合わせ：農林観光係

☎ 5415327

戦没者遺児による慰霊友好親善事業

この事業は、先の大戦で父等を亡くした戦没者の遺児を対象として、父等の戦没した旧戦地を訪れ、慰霊追悼を行うとともに同地域の住民と友好親善をはかることを目的としています。費用は、賛助金として一律十万円。本年度は、下記の十六地域について実施予定です。

▼《実施地域》

①旧満州 ②旧ソ連 ③西部ニューギニア ④マリアナ諸島 ⑤中国 ⑥東部ニューギニア ⑦ボルネオ・マレー半島 ⑧トラック諸島 ⑨パラオ諸島 ⑩ソロモン諸島 ⑪フィリピン ⑫ミャンマー ⑬沖縄 ⑭台湾・バシー海峡 ⑮マーシャル諸島 ⑯ギルバート諸島
◎問い合わせ
（財）日本遺族会
☎ 031326115521

水源の里フォトコンテスト作品募集

▼テーマ

水源の里の四季折々の自然風景、人々の生活や祭事、その地域を象徴する風物など、水源の里の魅力が表現された作品を募集します。

▼応募資格

プロ、アマ、年齢、性別、国籍を問いません。

▼応募プリントサイズ等

・平成十八年八月以降平成二十一年八月末までに全

国水源の里連絡協議会参画市町村（金山町も含まれます）において撮影されたもの。

・四切（ワイド四切、大四切不可）

・インクジェット出力（A4）

・カラー、モノクロ自由。

・合成写真不可。写真真に限る。（複数応募可）

▼受付及び締切

平成二十一年七月一日から八月三十一日まで。

最終日消印有効

▼応募料 一点につき千円

▼賞

・グランプリ（一名）
賞金二十万円及び水源の里特産品

・優秀賞（五名）
賞金五万円及び水源の里特産品

・特選（三十名）
賞金一万円及び水源の里特産品

・市町村長賞
水源の里特産品

※選考結果は九月下旬選考後本人に通知します。また、入選作品の展覧会を開催する予定です。

◎問い合わせ

全国水源の里連絡協議会事務局
☎ 077315410095

人事

交通教育専門員

金山町交通教育専門員に雪下幸三さん(本名)が再任されました。任期は平成二十一年五月一日から平成二十四年四月三十日までの三年間です。



委嘱を受ける雪下さん(右)

お知らせ

個人事業税の納税をお忘れなく

個人事業税は県内に事務所・事業所を設けて、物品販売業や不動産貸付業など、一定の事業を営んでいる方に納めていただく県の

税金です。会津地方振興局

県税部から送付される納税通知書により、年税額を八月(第一期分)と十一月(第二期分)の二回に分けて納めることになっています。

ただし、年税額が一万円以下の場合には、八月(第一期分)に一括して納めることとなります。

◎問い合わせ

福島県会津地方振興局
県税部

☎ 0242-2915251

不動産取得税の軽減制度

不動産取得税は、土地や家屋を取得したときに一度だけ納めていただく県の税金です。住宅用の土地を取得してから三年以内に住宅を新築(中古住宅の場合は、一年以内に取得)した場合や、住宅を取得してから一年以内にその住宅用の土地を取得した場合で一定の要件を満たすときは、これらにかかる不動産取得税を減額する制度があります。

また、災害や公共取用時などにも減免制度があります。

これらの制度は、ご本人の申請により減額・減免す

るものなので、該当すると思われる方は、詳しい要件及び必要書類について次のところにお問い合わせください。

◎問い合わせ

福島県会津地方振興局
県税部

☎ 0242-2915254

経済センサス基礎調査

七月一日を調査日とする経済センサスが行われます。この調査の対象は、すべての事業所などとなっています。

六月下旬から調査員が訪問しますので、ご協力をお願いします。

◎問い合わせ：総務係

☎ 5415215

献血のお知らせ

▼日時 七月十六日(木)
午前十時から

午後四時まで

▼場所 JR会津川口駅前

※成分献血については、血液センター(献血ルーム)のみでの実施となります。

◎問い合わせ：住民福祉係

☎ 5415135

町水道メーター検針

七月一日から五日までの間に町水道メーターの検針を実施します。検針のため、検針員が各戸を訪問しますので、検針メーターの上に検針に障害のあるものが置いてある時は、六月中に取り除いておいてください。

※水沼、高倉、三更、太郎布、田沢の各地区は該当ありません。

◎問い合わせ：上下水道係

☎ 5415315

金山町地域振興券の利用

金山町地域振興券のご利用期間は、6月30日(火)までとなっております。使い忘れないようにお早めにご利用ください。

◎問い合わせ

金山町商工会 ☎ 54-2311

これからの予定

★6月★

▼20日(土)

・県民スポーツ町予選会(家庭バレーボール)
午後7時30分
町民体育館

▼27日(土)

・かねやまキッズクラブ、こぶし学級、わんぱく教室 3講座合同交流会
旧横田中体育館

★7月★

▼1日(水)

・スーパークッズ
午後7時 町民体育館

▼5日(日)

・河川クリーンアップ作戦

▼9日(木)

・行政相談
午前9時 金山町役場

▼15日(水)

・免許更新
午前9時 開発センター
・スーパークッズ
午後7時 旧横田中体育館

☆ あたらしい本が入りました ☆

一般向け



利休にたすねよ

山本 兼一 著 (PHP研究所)

第140回直木賞受賞作

～おのれの美学だけで天下人・秀吉と対峙した男・千利休の鮮烈なる恋、そして死～

児童向け

ぼくがラーメンたべてるとき

長谷川 義史 著 (教育画劇)

第13回日本絵本賞受賞・第57回小学館児童出版文化賞受賞

～おなじ地球の上で、いま何をしていますか～



児童向け

ねこのシジミ

和田 誠 著 (ほるぷ出版)

～公園で捨てられていた、ねこのおはなし～

図書室だより

◆図書館の利用状況（4月分）

月刊貸出冊数 50冊

（うち児童書） 15冊

◆図書館利用者からの声

公民館の図書室にある本を借りれば、買わなくてすむのでとてもエコロジーです。（匿名）

- ・小説・児童書・実用書など、たくさん本をそろえています。
- ・本は、一人3冊まで、貸出期間は2週間です。

たくさんの方々のご利用をお待ちしております。

◎問い合わせ

中央公民館 ☎ 54-5360

あの人この人

5月届出（敬称略）

こんにちは赤ちゃん

滝沢 太晟（父・滝沢 康成（横田）
母・ 薫）

馬場 健人（父・馬場 孝弘（中川）
母・ 真美子）

お二人で幸せに

該当はありませんでした。

霊よ安らかに

黒 川 ミヨシ（96歳）西 谷
栗 城 昭 夫（81歳）玉 梨
滝 沢 ヨシノ（86歳）田 沢
滝 沢 ユキイ（89歳）上横田

※このコーナーに掲載を希望されない方は、届け出時に申し出て下さい。

おもいやり駐車場利用制度

おもいやり駐車場とは、車いすマークがある駐車スペースのうち、施設管理者の協力を得て「おもいやり駐車場」のステッカーが表示されている駐車スペースです。この制度は、利用者からの申請に基づき県が利用証を交付し「おもいやり駐車場」に駐車する際に利用証の掲示を求めることでこの駐車場の適正利用を図る必要としている方のスペースを確保する制度です。このおもいやり駐車場の利用制度は七月より開始されます。

▼利用対象者

- ・身体障がい者
- ・妊産婦
- ・要介護認定を受けている方など

▼申請受付・交付窓口

役場住民課

※申請には該当する書類

- ・身体障害者手帳
- ・母子健康手帳
- ・介護保険被保険者証

などが必要になりますので忘れずにお持ちください。

この制度は、皆さんの「おもいやり」によって運用される制度です。ご理解とご協力をお願いします。



おもいやり駐車場のステッカーと利用証

◎問い合わせ
県保健福祉部
024-521-1719
7

金山町の人口（6月1日現在）

世帯数	1,149世帯	(-3)
人口	2,651人	(-2)
男	1,257人	(+1)
女	1,394人	(-3)

※（ ）内は先月比

緑のふるさと協力隊活動報告

4月28日

大塩の育苗センターでのお手伝いの休憩時間に笹巻きと出会いました。私の住んでいた地域では端午の節句といえば柏餅だったので、笹巻きを食べるのは初めてでした。モチモチでおいしくて、三角でかわいくて、きな粉の緑が鮮やかな笹巻きに私は夢中になりました。今、私の一番好きな食べ物ハダントツで笹巻きです！本当に大好きなので、このおいしさとかわいさをもっと広めるためにも、笹巻きが名物になるといいなあと思います。

5月10日

菅家一さんと一緒に滝沢の山へ山菜採りに行ってきました。行くまでの道にあったブナ林の緑がとてもキレイでもっとブナ林へ行ってみたくまりました。今回はウドを取ってきたのですが、滑りやすい斜面を歩き何回も転びそうになりました。出品者の方がこんな思いをして採ってきている山菜が直売所に並んでいる

とを知り、自分が売る時も大切に扱っていきたいと思いました。



ウドを採りました

5月16日

わんぱく教室で、小学生と一緒に郡山の自然の家でアーチェリーに挑戦してきました。子どもたちの元気な笑顔にたくさんパワーをもらってきました。また、上級生が下級生に教えてあげている様子をみて、いいなあと思いました。私は一学年八十人くらいいる小学校に通っていて、他学年の児童との関わりがあまりありませんでした。自然と上下関係や人間関係を学ぶことのできるという小規模校だからこそその良さを感じました。

宮下病院だより

「心ある医療」出前講座のご案内

宮下病院では、地域で行う医療講演会や健康づくり教室などに、看護師等の医療スタッフを派遣しています。お役に立つ医療情報を、分かりやすくお話しします。

開催は原則として 9:00～17:00

問い合わせ ☎0241-52-2321

No.	講座名	所要時間
1	いつまでもいきいきと自分らしく～認知症予防の食事や運動生活～	40分
2	高齢者の転倒予防・寝たきり予防～いつまでも、足・腰 元気!!～	40分
3	腰痛、膝痛の原因～若がえりのための体操～	30分
4	食中毒やインフルエンザ 手洗いひとつでこわくない!!	30分
5	自分らしく生活するための呼吸法～息切れしないコツ～	30分
6	禁煙教室「タバコの害」	20分
7	一人で悩んでいませんか「おしっこ」のこと!!	40分
8	有効的な病院受診～コンビニ受診はやめましょう～	1時間
9	自宅での介護や看護～一緒に語り合いませんか～	40分
10	快適な眠りで心と体を健康に	40分
11	上手な薬の使い方～薬の飲み方を覚えよう～	30分
12	「ジェネリック薬」って知ってますか～かしこく医療費を減らしましょう～	30分
13	元気を生み出す食生活～食べる前に考えてみましょう～	30分

注意！新型インフルエンザ

インフルエンザに関する疑問、相談は保健福祉事務所（または発熱相談センター）に問い合わせをしましょう。特にインフルエンザ様症状がある方は必ずその指示を受けてから医療機関を受診してください。

★新型インフルエンザに関する一般的な質問

- (例) ・メキシコ産の豚肉は食べても大丈夫か？
・海外旅行の予定があるが大丈夫か？

会津保健福祉事務所

0242-29-5512 (9:00～17:00)

★関西・関東圏、新型インフルエンザの感染が確認されている国へ旅行した方やそういった方と接触をされた方で

- ・突然の発熱
- ・全身のだるさや筋肉痛
- ・ひどい咳や鼻水

等のインフルエンザ様症状がある方

発熱相談センター専用電話

昼間 0242-29-5203 (8:30～17:30)

夜間 090-4631-5682 (17:30～8:30)

※金山町役場住民課内に「金山町新型インフルエンザ対策総合相談窓口」を設置しています。不明な点はお問い合わせください。

保健医療係 ☎54-5135

金山町ふるさと応援 寄付金感謝します

昨年四月三十日に公布された地方税法により、納税者の「ふるさと」を応援したい、「ふるさと」に貢献したいという思いをかすべく「ふるさと納税」制度が始まりました。

本町も「金山町ふるさと応援寄付金」を創設して寄付金を募りました。その結果本町の取り組みにご理解をいただいて本当に多くの方々から寄付が寄せられました。

昨年度の寄付

二十六件

総額 二百九万円

本町へと寄せられた皆さんの熱い期待がかかる寄付金は、今年度から主に二つの事業に大切に活用させていただいて、光り輝く奥会津金山町の実現に向けて努力していきます。

寄付金の使い途

昨年度いただいた寄付金のうち使い途の指定があった九十二万円を今年度使用し残金は積み立てます。

自然環境の

保全事業

先人たちが我々に託してくれた金山町の豊富な自然環境を後世に残すために取り組んでいきます。今年度は、沼沢湖周辺の景観事業（主に花の植栽）に二十二万円を使用します。

地域活性化事業

少子・高齢化が進み集落の維持が困難になる中で、金山をあきらめないという強い意志で地域興しを行う団体などを積極的に支援していきます。今年度は、妖精の里商品券に使用し地域活性化の取り組みに七十七万円を使用します。



自然環境の保全事業（ヒメマスの稚魚放流）

- 町では今年度も引き続き「金山町ふるさと応援寄付金」を活用して奥会津金山町を応援していただける方を募集をしています。町出身者・町に思いのある方のご支援、ご協力をお願い致します。
- ①寄付金が五千円以上の方に町の特産品をお送りします。
 - ②ご希望により「奥会津ふるさとサポーター」に登録します。（サポーター特典）
- ・広報、議会だよりの送付
 - ・各種イベント案内やパンフレットの送付
 - ・町内の施設を町民価格にてご利用可能
- ◎問い合わせ 政策財政係

☎ 54-5222



おじゃまします

金山町の観光をPR

金山町観光情報センター

坂内 友洋 さん

今月は、五月一日に川口駅構内にオープンした『金山町観光情報センター』のスタッフとして町の観光の宣伝、案内、情報発信を行う坂内友洋さん（玉梨）にお話を伺いました。

まだまだこれから

「準備不足もあり認知度はまだ低いようです。しかし訪れた観光客に金山町の観光をしっかりとPRしていきます。五月の来場者は、大型連休やSLの運行もあり約千八百名となっており、狭いスペースを有効に活用できるように、東京大学の大学院生らと観光情報センターのレイアウトについて検討を図るなど、金山町の観光PRに意欲的に取り組みたい」と坂内さんは、話します。

観光PRだけではない

「会津川口駅を利用する町民の皆さんや駅関係者に「ずっと閉まっていたので、また始まって良かった。頑張った」「駅が明るくなつて良かった」と声をかけて



観光情報センターを訪れた早稲田大学ワンダーサイクリング部OB会の皆さん

もらいました。金山町を訪れた観光客に特産品を買ってもらったり、金山町をPRしたりするだけではなく、会津川口駅を利用する人々が気軽に立ち寄れる場所にしていきたい」と坂内さんは、その思いを語ります。

笑顔を忘れずに

金山町を訪れた観光客にとって『観光情報センター』はいわば町の顔です。その顔として坂内さんは「いらつしやうとした方に笑顔で接することを一番考えています」と話しました。坂内さんのさわやかな笑顔で迎えられたら、また訪れたいと思うリピーターが増えるのではないのでしょうか。



頂上でみんなで記念撮影

横田公民館主催の高森山（八二七メートル・通称田代山）登山が五月二十四日に行われ、十六名の参加者は、新緑の中、さわやかな汗を流しました。
午前九時三十分、田代集落入口に集合して登ること約二時間、頂上付近の険しい岩場をロープ伝いに登りきって山頂に到着。この日は薄曇りで、ガスのため山々を見渡すことはできません

高森山登山

眼下に走るSLを一望

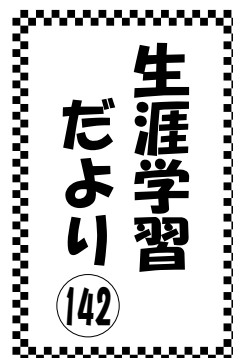


生涯学習のマスコット マナビイくん



険しい岩場を登ります

でしたが、SLの最終運行日と重なり、眼下の溪谷に沿って走る勇ましいSLの軌道を一望できました。
参加者はワラビやウドなどの山菜を採りながら、それぞれのペースで下山し、初夏の一日を楽しんでいました。
昨年は雨で中止となり、初めての取り組みでしたが、町内の小学生や、遠くは会津若松市からの参加者もあり、来年も登山したいという声も聞かれました。



頂上からS Lの勇姿が望めた田代山登山

